＜出題意図＞

子どもたちの教室の物語を記録することの価値について取り上げている。教師の心が動かされるような，子どもの学びや成長を観察・記録し，作品として残していくことの価値について理解し表現する能力を問うことで，教育学部（学校教員養成課程）が入学者に求める知識や能力・水準に照らし，現代的教育課題の解決に必要な視野の広い思考力・判断力・表現力を評価する。具体的には，教師がつくる物語として学級通信に着目し，保護者が抱く共通感覚（共同体感覚）にもとづいて，学級通信の美しさや価値が判断されることを本文から読み取り，有用性を越えた価値がある学級通信を作る工夫について自分の言葉で論じる力を評価する。